

明石工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	地理		
科目基礎情報							
科目番号	0002	科目区分	一般 / 必修				
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1				
開設学科	建築学科	対象学年	1				
開設期	後期	週時間数	2				
教科書/教材	片平 博文他『新詳地理B』 斎藤 正義他『新詳高等地図』帝国書院						
担当教員	荒川 裕紀						
到達目標							
1、自然と人間活動との関わりあいについて理解し、考察できる。 2、世界の地誌と多様性を認識し、グローバルな感性を身につける。 3、今日の国際社会が抱える諸問題を地理的な視点で捉え、解決の糸口を考察できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安				
評価項目1	自然と人間活動との関わりあいについて十分に理解できる。	自然と人間活動との関わりあいについてほぼ理解できる。	自然と人間活動との関わりあいについて十分に理解できない。				
評価項目2	世界の地誌と多様性を十分に認識できる。	世界の地誌と多様性をほぼ認識できる。	世界の地誌と多様性を十分に認識できない。				
評価項目3	今日の国際社会が抱える諸問題を地理的な視点で捉え、解決の糸口を十分に考察できる。	今日の国際社会が抱える諸問題を地理的な視点で捉え、解決の糸口をほぼ考察できる。	今日の国際社会が抱える諸問題を地理的な視点で捉え、解決の糸口を十分に考察できない。				
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育目標 (C) 学習・教育目標 (H)							
教育方法等							
概要	自然と人間活動との関わりあいについて考察する。それとともに世界の地誌の知識を深めた上で、今日の国際社会が抱える諸問題を地理的な視点で捉え、解決の糸口を考察することを目的とする。						
授業の進め方・方法	教科書、地図帳を使って授業を進める話した内容に対してメモを取ることを重要視する。自学自習を欠かさず行って、自ら世界地理の興味を持って、世界情勢を考えていくという姿勢で臨んでほしい。						
注意点	合格の対象としない欠席条件(割合) 1/3以上の欠課						
授業計画							
	週	授業内容	週ごとの到達目標				
後期	3rdQ	1週	現代世界の諸地域・地域の考察方法	世界の諸地域に関する知識を十分に持ち、考察方法についての説明が出来る。			
		2週	東アジア(1) (中国の気候・工業と広大な経済圏)	現在の中国の地誌に関して十分な知識を持ち、なおかつ工業発展の過程についての説明が出来る。			
		3週	東アジア(2) (朝鮮半島の歩みと文化・韓国の発展と変化)	日韓の関係に関する十分な知識を持ち、地誌に基づいた文化的・経済的交流についての説明が出来る。			
		4週	東南アジア (モンスーンの影響を受ける環境・文化・民族)	東南アジアに関する自然地理学的な知識を十分に持ち、文化的な多様性についての説明が出来る。			
		5週	南アジア (三つに分けられる地形、発展する産業)	発展著しい南アジアの経済に関する知識はもちろんのこと宗教的、文化的な諸問題にも踏み込んだ説明が出来る。			
		6週	西アジアと中央アジア (乾燥した大地とイスラーム)	イスラーム教の教義や成り立ちについて、自然および文化地理学的な知識を持って、説明が出来る。			
		7週	アフリカ (サハラ以北と以南、モノカルチャー)	アフリカの自然・文化に関する地誌に関する知識を持ち、諸問題に対する説明が出来る。			
		8週	中間試験 (これまでの学習内容の確認)				
	4thQ	9週	ヨーロッパ(1) (高緯度でも温暖な気候と安定した大地)	ヨーロッパの地理的な特性に関する説明が出来る。			
		10週	ヨーロッパ(2) (ヨーロッパの多様な産業とこれから)	産業革命を牽引したヨーロッパの産業の成り立ちから現在に関する流れの説明が出来る。			
		11週	アングロアメリカ(1) (移民国家・世界の農業、工業国)	世界の経済をけん引するアメリカの産業および諸国との繋がりに関する説明が出来る。			
		12週	アングロアメリカ(2) (政治・経済の重要な国として)	日本とアメリカとの関係、政治的な立場に関して、地理学的な側面からの説明が出来る。			
		13週	ラテンアメリカ (資源を中心とした工業、大土地所有制と農業)	成長著しい南米諸国の成り立ち、地誌に関する知識を十分に持ち、これからの世界に対しての重要性の説明が出来る。			
		14週	民族と宗教 (世界の民族・言語そして宗教)	世界の民族・言語・および宗教に関する知識を十分に持ち、世界および日本の文化の多様性を説明できる。			
		15週	現代社会の諸問題・民族紛争、民族共生に向けての課題	現在、世界で起こっている諸問題に関する知識を持ち、自らの考えを信念を持って説明できる。			
		16週	期末試験				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	提出物	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	20	5	5	0	0	100
基礎的能力	70	20	5	5	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0

分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0
---------	---	---	---	---	---	---	---